

富山県朝日町

# 議会だより



第120号  
令和6年2月1日



出初式での分列行進

## CONTENTS

■令和5年度補正予算など	2～3	■常任委員長報告	14
■代表質問	4名 4～9	■議会の活動記録	15
■一般質問	4名 10～13	■議会日誌 10月～12月	16

### 本会議の様子は高画質な ケーブルテレビ・インターネットで！

定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。

議場システムの更新を行いました。提案理由、質疑、代表・一般質問、討論、採決の様子は高画質なケーブルテレビ・インターネットからご覧ください。

議会日程のほか、議会のインターネット中継・録画配信も下記URLの町ホームページからご覧いただけます。

<https://www.town.asahi.toyama.jp/gyosei/index.html>  
(トップページ ⇒ 朝日町議会 ⇒ 各ページタイトル)



12月定例会の様様を  
YouTubeで配信しています

《発行編集》

富山県朝日町議会だより編集委員会

〒939-0793

富山県下新川郡朝日町道下1133番地

☎0765-83-1100(代)

## 12月定例会

# 農業経営安定対策、物価高騰 対応重点支援給付金の補正可決、 素早い給付を求める

令和5年12月朝日町議会定例会は、12月4日から18日までの15日間にわたり開催されました。

令和5年度一般会計補正予算のほか、固定資産評価審査委員1名の選出に同意しました。

### 令和5年度補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計 (第11号)	補正総額	2,435万円
水田営農活性化対策費 ・農業経営安定対策事業		2,435万円
一般会計 (第12号)	補正総額	1億4,248万円
企画費 ・空調設備改修図面作成支援業務委託		352万円
戸籍住民基本台帳事業 ・あいのトキめき婚姻・出生祝福事業		96万円
システム改修委託		1,101万円
児童福祉総務費 ・出産・子育て応援交付金事業		50万円
母子保健推進費 ・妊婦健康診査事業 ・産婦健康診査事業		52万円 5万円
病院費 ・光熱費等物価高騰対策支援金		657万円
農業経営総合対策事業費 ・「富富富」生産拡大乾燥調製施設整備支援事業		150万円
農地費 ・県営土地改良事業		451万円
商工総務費 ・エクスプレス運行委託		248万円
都市計画費 ・街路改良事業		303万円
学校管理費 ・管理用備品 ・給食費補助金		55万円 252万円
給与費 ・一般職、特別職		1,027万円
予備費		9,257万円
一般会計 (第13号)	補正総額	1億284万円
社会福祉総務費 ・社会福祉施設運営支援費 ・物価高騰対応重点支援給付金給付事業		407万円 8,513万円
商工総務費 ・公共交通等物価高騰対策支援事業		54万円
商工業振興費 ・プレミアム付お買い物券発行事業		1,310万円
特別会計		
国民健康保険特別会計		1億4,282万円
後期高齢者医療事業特別会計		1,516万円
簡易水道特別会計		1,855万円
下水道特別会計		976万円

## 12月定例会審議結果

※議決日は12月18日（議案第81号は12月4日）

議案番号など	件名	審議結果
議案第81号	令和5年度朝日町一般会計補正予算（第12号）	原案可決
議案第82号	令和5年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	
議案第83号	令和5年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第84号	令和5年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第3号）	
議案第85号	令和5年度朝日町下水道特別会計補正予算（第1号）	
議案第86号	令和5年度朝日町病院事業会計補正予算（第1号）	
議案第87号	朝日町下水道事業の設置等に関する条例制定の件	
議案第88号	朝日町の職員の給与に関する条例等一部改正の件	原案承認
議案第89号	地方自治法179条による専決処分 の件 専決第18号 令和5年度朝日町一般会計補正予算（第10号）	
議案第90号	令和5年度朝日町一般会計補正予算（第13号）	原案可決
議案第91号	朝日町国民健康保険税条例一部改正の件	
議案第92号	朝日町手数料条例一部改正の件	
議案第93号	朝日町固定資産評価審査委員会の委員を選任するため同意を求める件	同意
陳情第4号	認知症予防のため、加齢性難聴者の補聴器購入に対する朝日町独自の補助制度創設を求める陳情	継続審査
選挙第3号	朝日町選挙管理委員及び補充員の選挙の件	指名推選

## 人事案件

- 朝日町固定資産評価審査委員会の委員を選任するため同意を求める件
  - ・長井 巧（70）……………朝日町笹川1242番地

- 朝日町選挙管理委員及び補充員の選挙の件

### 【選挙管理委員】

- ・松下 肇（79）……………朝日町南保823番地
- ・植木 裕一（75）……………朝日町沼保1354番地
- ・九里 隆夫（76）……………朝日町山崎4735番地 1
- ・竹内 雅和（73）……………朝日町笹川992番地

### 【補充員】

- ・澤木 昇（71）……………朝日町大家庄736番地
- ・尾崎 真理（62）……………朝日町泊409番地
- ・南茂 敬子（68）……………朝日町桜町830番地
- ・水島 哲也（54）……………朝日町境1780番地

## 泊駅南土地区画整理事業 公園用地取得価格の進捗は

### 答 購入単価については、 現在も組合と交渉中



大井 光男（一步会）



**質問** 9月議会での答弁で検討中という事柄について伺う。

公園用地取得価格について組合と町と交渉中であるとのことだが、その後の進捗は。

**答弁 建設課長** 組合では、土地区画整理事業の施行に当たり、土地区画整理法上必要な公園や調整池として土地を組合員からの減歩により確保されている。

町は約9,000㎡を組合から購入し、一体的に公園を整備することとしている。この購入単価については、現在も組合と交渉中である。

なお、組合は保留地の単価を不動産鑑定士に依頼し、算定している。9月に公表した概算事業費にはこの単価を用いているが、組合では、公園となる保留地について



泊駅南公園イメージ図

は、造成工事などを実施しない方針のため、それらの費用を支出しない分、単価を抑えることができないか、現在、組合の事業計画の収支を精査し検討されているところである。

**再質問** 来年度の予算要求があるはずだが、いつ頃に購入価格がわかるのか。

**再答弁 建設課長** 今回のような土地区画整理事業の場合、所有権移転というのが、換地が終わった後でないといけない。事業スケジュールから行けば、8年度に換地が行われるスケジュールになっていたと思うが、実際、引き渡しを受けるのがその頃だと想定すると、予算はどうしても単年度主義ということになるので、来年度着工するが、6年度に契約してしまつては、実際に町の土地になるのは8年度になる。2年間繰り越すので国の予算的にいうと事故繰越しという形になってしまう。

あらかじめ分かっていることを最初からそこでやってしまうというの、財務省から認められないと考えられる。町としては少なくとも7年度には契約したいと思っているが、実際の工事着手に当たっては組合と町で起工承諾という形を取り、工事着手には移りたい。予算、購入に関してはそれ以降で行う。組合は結局、事業計画、事業のやりくりがあり、最後は事業を赤字で終わらせるわけにはいかないということがあるので、今は精査されているところで

あり、土地の取得までにある程度期間があるので、じっくりと交渉させて頂きたい。

**発言** 朝日町が組合から土地をいくらずで購入するのか分からないまま工事するのは、町民からするとありえないと思う。

答弁は要らないが、町民目線からいうと、坪いくらで買うのかを決めてから、その後に工事を着工すべきだと思う。

### 宿泊施設の現状とビジネス型 宿泊施設について

**答** 全国的な流れを見ながら朝日町に見合う形態を研究する

**質問** 近年はシングル・ツインの部屋のあるビジネス型宿泊施設が求められているが、町の考えを伺いたい。

**答弁 町長** 近年、あさひ舟川「春の四重奏」やヒスイ海岸といった町の魅力ある観光資源に注目が集まり、交流人口の増大、課題克服に向けたノッカルあさひまちや教育DXといった先進的な取組に、自治体関係者から高い関心が寄せられるなど、多くの方々から全国から来町されている。

また、訪れる方々には、町にある宿泊施設をご利用いただき、豊

# 代表質問

かな自然、田舎の風情や情緒などを味わってもらいながら過ごしていただくことも町の魅力の一つであるとして理解しているが、一方では個人志向の傾向も強くなり、ビジネス型の宿泊施設の需要も高まっていることも承知している。

現在も精力的に進めている企業誘致施策において、工場等の誘致だけではなく、商業施設や宿泊施設など、広く町の発展に寄与する話があれば積極的に進めていきたいと考えている。

**答弁 商工観光課長** コロナ禍がもたらした生活様式の変化や旅先であつても個人の時間を大切にする時代の志向の変化により、最近では個人ごとの部屋のあるビジネスホテルを希望する声も聞かれるが、議員ご指摘のとおり、朝日町にはビジネス型の宿泊施設がないのが現状である。

その中で、コンテナ型宿泊施設については、建物を建設することがなく安価な初期投資で開業できることから、近年全国的に増加傾向にあると聞いている。運営事業者にもよるが、設置コストが安い分、利用料金も低価格に抑えることが可能であり、個人志向のニーズにも合うことや、適当な土地があれば施工に時間もかからないほ



コンテナ型宿泊施設 (イメージ)

か、元は荷物を運ぶために使用されていたコンテナを利用するため、廃棄物の減少、リサイクルの促進といった環境面でのメリットもあるといわれている。

また、平時にはコンテナホテルとして活用し、有事の際には避難施設として活用できるなど、防災面からの用途も注目されている。

いずれにしても、朝日町で導入する際には、場所の特定や規模の判断、運営主体となる事業者の選別など、それをどのように考えるかなど、検討すべき事項は多いことから、全国的な流れを見ながら情報を集め、朝日町に見合う形態を研究していきたいと考えている。

## LoCoPiあさひまちは 具体的にどのようなこと に利用できるのか



由井 崇  
(青雲)

**答** 子どもや高齢者の見守りサービス等を検討

**質問** 令和6年1月から利用開始となるLoCoPiあさひまちが具体的にどのようなことに利用できるのか伺いたい。

**答弁** みんなで未来！課長 具体的なサービス内容の1つは、子どもの見守りサービス。小・中学生を対象としたもので、各学校に

設置を予定している専用の読み取り端末に、登下校時に児童や生徒がカードをタッチすることにより、保護者へメールで通知が届き、通知を受けた保護者は、お子さんが無事に学校に着いたことや帰宅することを知ることができるとができるサービスである。



見守りサービスについては、高齢者を対象としたサービスも検討中。これは、通院時や介護教室に参加した際に、カードを読み取り端末にタッチすることで、遠方の親族にメールで通知が届き、通知を受けた方は元気に生活していることを知ることが可能であり、通知がない場合、連絡をして安否確認をする、などを想定した安心を届けるサービスとなる。

また、紙媒体として利用されているバス券などをデジタル化し、カードにチャージすることで、あさひまちバスやソッカル、まめなげ市場でのお買い物などをカード一枚で利用できるサービスも検討している。

さらに、これらのサービスを利

用するたびにカードにポイントが貯まっていく仕組みであり、このポイントについては、地元の特産品などが当たる抽選会の応募に使っていただくことを予定している。

今後、より魅力を感じていただけるサービスとなるよう、引き続き町民の皆様の声を伺っていきたくと考えており、1月から開始されるサービスへの参加をお願いしたい。

**再質問** LOCCOPIあさひまちの導入によって、住民の方々にどのような利便性があるのか。そして、町がどのようなようになっていくのか。

**再答弁** みんなで未来！課長

マイナンバーカードを使って、住民の利便性や生活の質を向上させていきたいというのが第一義的な目的である。そのために具体的などういう取組ができるのかというのを庁内で各分野横断的に検討している。

## 滞在体験型修学旅行受入れの拡充について

**答** 民間宿泊施設の活用と体験学習を併せた誘致を検討

**質問** 民泊体験の受入れにつき、今後の体制について伺いたい。

**答弁** 商工観光課長 新型コロナ

ナウイルスの感染拡大により、修学旅行自体が中止となる状況が続いていたが、感染症分類の引下げを契機とした人流の増加・拡大とともに全国的にほぼ復活し、朝日町においても、5月に大阪市大正中学校からの修学旅行生124名の受入れを予定している。しかしながら、受入先の開拓方法については、コロナ禍がもたらした生活様式の変貌や他者との距離感の変化などにより、悩ましい状態である。しかし、特に関西地域からの修学旅行においては、一般家庭での民泊を含めた体験型が主流である。これは、まさに家族以外の他者との触れ合いを学習の目的とし



ているからであり、今後しばらくは体験型修学旅行の需要は続くものと推測される。

町としても交流人口の拡大に対して有効な手段であると考えており、様々な方法で受入先を募るとともに、今後は受入れの規模を適正にすること、民間の宿泊施設の活用と体験学習を併せたスタイルで誘致を行うことも視野に入れていく必要があると考えている。

## 町内における将来の農業経営体及び農業従事者について

**答** あさひ農学舎における農業後継者の育成確保で成果あり

**質問** 町内における将来の農業従事者の人数をどのように予測されているのか。

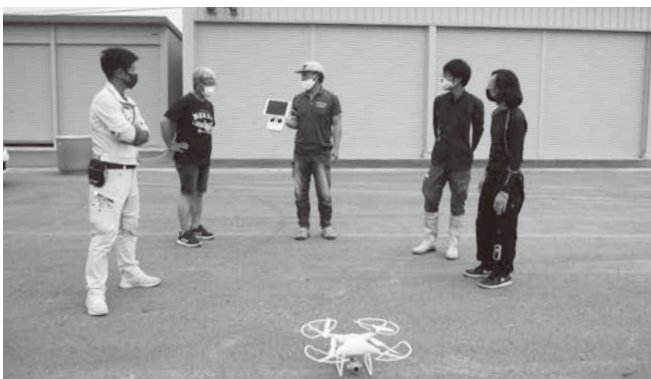
**答弁** 農林水産課長 県農村振

興課が主催した農村地域形成に関する研修会において、人口動態データを活用したプログラムによると、朝日町の基幹的農業従事者171名は、今後何も施策を講じなければ、20年後には36人、30年後には22人になると推計されているが、町外から毎年一定数の人が朝日町で就農することで、30年後には22人になると推計されていた農業者は105人になるとのシ

ミュレーション結果となっている。

朝日町においては、平成28年から農業インターンシップや農業分野における地域おこし協力隊の登用を積極的に行っており、特に令和2年からは、あさひ農学舎における農業後継者の育成確保に力を入れており、既に大規模農家の事業継承や研修先において就農するなど、成果が出てきていることは、議員ご承知のとおりである。

あさひ農学舎における農業後継者育成等をはじめ、今後とも朝日町の農業の維持発展のため、多様な担い手の確保に努めたいと思っている。



あさひ農学舎での研修の様子

# 代表質問

## 元気な町は、 地域住民が熱い思いで 町を盛り上げている



吉江 昌宏  
(グループ22)

### 答 町民がまちづくりの主角、 信頼と対話で取組を進める



**質問** 元気で勢いのある町は、町職員や町長が主導ではなく、地域住民が自らの熱い思いで町を盛り上げている。やらされているのではなく、町民自らが企画・発案し、自らが行動する。いかに町民の皆さんとともに歩んでいくのか。

**答弁 町長** 町長に就任して以来、第5次朝日町総合計画にも掲げている将来像である「夢と希望が持てるまちづくり」に向け、朝日町が前進する施策を展開するとともに、3期目の公約として掲げた11の政策と方針に基づき、町政の運営に当たっている。

DX、カーボンニュートラル分野の取組を強化するとともに、みんな未来！課の設置や、株式会社社博報堂から起業人を派遣していただきながら、朝日町から全国に

向けた情報発信や官民連携活動を展開する場の創出についても推進するなど、公約の一つでもある「新たな行政スタイルの発信」にも注力し、持続可能な住みよい朝日町を目指してきている。

これらの新たな取組を踏まえ、町民の皆様はもちろん、朝日町に関わりのある方々と手を携え、明確な目的・目標、スピード感を持って、オール朝日町でまちづくりを進めていく姿勢は変わらない。70周年という節目を迎えるに当たり、町政運営に関しては、活力ある魅力あふれる持続可能なまちづくりを目指すため、町民の皆様がまちづくりを一層自分ごととして捉え、町民がまちづくりの主角であると実感できるよう信頼と対話をもって取組を進めるとも

に、70周年という記念すべき年を未来に向けて新たなスタートアップの年と位置づけ、町政発展のために施策を展開してまいりたい。

**再質問** 町民がまちづくりの主角であると実感できるように信頼と対話をもってと言っておられた。ぜひとも朝日町民の幸せのために、町民と一丸となって魅力ある朝日町をつくっていただきたい。

**再答弁 町長** 町民に主導的な役割を担っていただくことが何より町の活力につながっていくというご提言、私もそのように思っている。

行政だけが頑張っても、やはり大事なものは、基本は町民の皆様が朝日町に対して自分ごとのように感じていただけること、そして一緒にそういった汗をかくことが必要なことだというふうに思っている。

### 婚活事業施策を積極的に進めていただきたい

**答** 移住者も含め、町での結婚、居住に繋がるよう検討したい

**質問** 婚活事業についてあまり議論されていないように感じる。町外や県外の方を対象とした婚活イベントやふるさと回帰支援セン

ターなどで婚活事業などを紹介してもらえないのか。

地域外の方々との交流が促進され、婚活に対する新たな可能性が広がるのではないかと思う。婚活事業施策を積極的に進めていくことが望ましいと提案する。

**答弁 住民・子ども課長** あいのトキめき事業として出会いの場の創出、結婚支援事業に取組んでいる。

出会いイベントを開催してできる限りの周知に努めてはいるが、参加者が数名しか集まらないのが現状である。

滑川市、魚津市、黒部市、入善町、朝日町の3市2町合同で、写真お見合い会といった出会いイベントを開催する等、近隣自治体での連携した取組を実施している。その他、交流イベントを実施した団体に対して町から補助金を交付したり、とやまマリッジサポートセンターに入会される際に登録料の2分の1を町が助成する補助事業を開始している。

とやまマリッジサポートセンターでは、現在、18歳から29歳で、11月1日から12月28日の間に登録を行った方に対して、試験的に入会登録料を無料とされており、登録が増えることが期待され

ている。

現在、町では、県外での移住フェアに参加した際には移住・定住ハンドブックを配付したり、子育て支援や移住定住支援などの町の施策について、移住を希望される参加者に対し紹介しているところである。

町としても、県外の方にも朝日町に興味を持っていただき、地元こだわらず、町外、県外からの移住者も含め、朝日町での結婚、居住に繋げていくよう検討したい。

## 安全確保のために、信号機の設置をお願いしたい

**答** 粘り強く、いろいろ協議をして要望していきたい

**質問** あさひ総合病院前のT字路は、小学校への通学路や児童館へ通う児童が利用する重要な道路となっている。

町民や児童など地域の安全確保のためにも、ぜひとも信号機の設置について前向きに取り組んでいただきたい。

**答** 井 総務政策課長 町では、

毎年、交通危険箇所合同パトロールを実施しており、各関係機関の関係者と現地調査を行い、その結

果を踏まえ、設置要望は入善警察署から富山県警察本部へ上申されている。

町からも入善警察署に改めて信号機設置の要望を行ったところではあるが、入善警察署からは、朝の出勤時間帯は交通量が多いと認識しているが、それ以外の時間帯は交通量がそれほど多くないため、その状況で信号機設置によって通行を止めるのは好ましくなく、当該信号機の設置は難しいが、富山県警察本部に報告するとの見解であった。

町では、改めて、できる限り安全対策を講じることができないか検討していただくよう、強く要望したところである。

**再質問** 小さな事故とかヒヤックとすることが、あそここの交差点は多々ある。ぜひ信号機の設置をしていただけるよう粘り強い交渉をお願いしたい。

**再答** 井 総務政策課長 毎年危険箇所ということで要望が上がっている交差点なので、引き続き粘り強く、いろいろ協議をして要望していきたい。

## 雇用創出奨励金の適用対象を町外者まで拡充する考えは

**答** 対象者の拡充も含め、交付要件や支給方法の見直し等検討したい



西岡良則  
(未来)

**質問** 令和4年度から、人材確保と雇用拡大を支援するため、朝日町雇用創出奨励金制度の拡充が図られた。

この制度における交付対象者は、申請日時点において、朝日町に住所を有する就業者で、町内の事業所に勤務している者となって

いる。雇用創出奨励金の対象を、町外者まで拡充する考えはないのか。

**答** 井 商工観光課長 町内の事業所に正規雇用された就業者及び雇用した事業者には10万円を、町内の事業所に正規雇用された29歳以下の就業者及び雇用した事業者には20万円を、6カ月以内に町外から転入し、正規雇用された就業者及び雇用した事業者には60万円を交付し、さらに、その就業者が29歳以下の場合には20万円を上乗せする形となっている。また、非正規雇用者を改めて正規雇用者として採用した場合は、事業者に対して20万円を交付することとしている。

令和4年度の実績について、12件、480万円の交付。今年度についても、当初は11件、520万円の交付を見込んでいたが、7月までに16件、1,180万円の交付申請があり、9月には補正予算を組んで対応するなど、現在までの交付実績は20件、1,400万円となっている。

奨励金の対象者を町外在住者にまで拡充することについては、事業者からも、対象者の広がりにより、さらなる雇用の確保につながることを要望をいただいている。また、町



# 代表質問

内事業者とのヒアリングにおいても、ほかにもご意見をいただいていることから、この対象者の拡充の件も含め、交付要件や支給方法の見直し等について検討させていただきます。令和6年度以降の予算確保に努めたいと考えています。

**再質問** 町外からの通勤が不便な人に分譲地に住んでもらえれば、人口減少対策や商工業の振興にも繋がると思うが、町長の考えは。

**再答弁 町長** 雇用の創出は非常に大事。移住定住にも繋がればと思っている。仕組みの変更も庁舎内では議論している。町の雇用、企業の皆様と打ち合わせをしながら、庁舎内で前向きな形で取り組んでいきたいと思っている。

## 今後の森林環境譲与税を活用した事業の取組は

**答** 計画的な森林管理に加え、さらなる林業振興に努める

**質問** 森林環境譲与税の配分は、様々な課題により手入れができていなかった森林における間伐、林道等の森林整備、事業実施に向けての意向調査、地籍調査による境界の画定、人材育成や担い手確保の推進が可能になる。

今後の森林環境譲与税を活用した事業の取組について伺いたい。

**答弁 農林水産課長 朝日町** は、森林環境譲与税の活用用途を適切な森林管理とし、令和元年度から令和15年度までの15年間の森林整備計画を策定したところである。1つの地域を3年1サイクルとして、14の地域の森林整備を行う計画としている。

具体的には、1年目は、間伐等の森林整備を10年以上行っていない森林所有者を対象に、今後の維持管理について意向調査を行う。2年目は、意向調査において今後の森林管理を町に依頼したいと回答された方が多い地域に対し、森林経営管理権の集積計画の作成を行う。3年目は、森林所有者に代わり間伐等の森林管理を行うため、町が森林組合に委託し整備を行うこととしている。

この事業は、これまで大平地区、横尾地区、南保地区において取り組んでおり、令和5年度においては、南保地区の3カ所で、それぞれ意向調査や集積計画、森林整備を行っている。

また、新川森林組合より、伐倒、枝払い・玉切り、集積の各作業を一貫して行うことができる高性能林業機械ハーベスタの老朽化

に伴う機械の更新に対して、新川管内の各市町に補助金の要望があったことから、これに森林環境譲与税を充てることを検討している。

いずれにしても、基金を含めた森林環境譲与税は、計画的な森林管理に加え、新たな森林整備や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及・啓発等に有効に活用し、さらなる林業振興に努めたいと考えている。

## 今年度のサケ有効利用調査の結果等は

**答** 全国的にサケ遡上が激減、例年の5分の1程度の釣獲

**質問** 昨年度のサケの有効利用調査では、調査員の募集定員数465人に対し816人の応募があったと聞いている。今年度も調査が行われたが、温暖化等の影響でサケの遡上減少とともに遅くなっていると聞いており心配している。

今年度の調査員の募集結果や調査員数、調査状況、宿泊状況などについて伺いたい。

**答弁 農林水産課長** 今年度は、令和5年10月13日から11月12日までの31日間を調査期間とし、昨年

度1日当たりの調査員数を15名としていたが、近年のサケの遡上数が減少傾向にあることから、調査員数を13名として募集を行ったところ、募集定員の403名に対し、県内外から655名の応募があった。

実績としては、調査期間初めの3日間、サケの遡上が見られなかったため中止したこともあり、355名での調査となり、オス126尾、メス81尾、合計207尾の実績であったと報告を受けている。

町内での宿泊及び滞在による経済効果を促すため、1人2,000円の宿泊助成を行っているが、今年度の利用は67件であった。

今年度は全国的にもサケの遡上数が減少しており、小川の釣獲実績についても、例年の5分の1程度にとどまる結果となったが、調査後のアンケートでは、「また来年も来たい」や「楽しかった」等の意見を多数いただいたと聞いている。

今後も本調査を通じて朝日町の雄大な自然の中で行われる川釣りを町内外へ発信するとともに、川釣り客による観光の経済的効果への期待も踏まえ、町の活性化に努めたいと考えている。

## 脱炭素施策の

## 町民への啓発の

## 考えは



寺西 泉

**答** 町が中心となり、啓発イベント等を積極的に開催していきたい

**質問** 11月23日にアゼリアホールにて、カーボンニュートラルに関する講演会が開催された。朝日町は2022年6月14日に、町と議会が共同でゼロカーボンシティ宣言をしている。この宣言を実効性のあるものにするためには、町民の理解と熱意が必要である。

今後は、町が中心となつて、町民への啓発活動を積極的に進めることが大切であると考えるが、当局の考えを伺う。

**答** みんなで未来！課長 講演会では、基本的な内容を分かりやすく説明し、国や県の脱炭素施策への理解の醸成が図られた。当日、環境省の方からは、参加者の意識の高さを目の当たりにでき、大変勉強になったと評価をいただいた。

しかし、現役世代の来場者が少なかったことから、今後は幅広い層にご参加いただけるよう、町が中心となり、工夫を凝らした講演会や啓発イベント等を積極的に開催していきたい。

## あさひ総合病院の人材確保への対応について

**答** 人材確保に最大限注力しながら病院運営に努める

**質問** 生産年齢人口の減少により、労働力不足の深刻化が懸念されている。医療現場においても同様の傾向があり、持続可能な医療提供体制確保のため、人材確保への対応が最も大切になってきている。あさひ総合病院における今後の人材確保への対応について伺う。

今回、当委員会からの提言については、ハードルが高い事柄もあるものと考えており、まずは院内での精査が必要であり、経営コンサルとも連携、協議を行いながら、短期的に取組むべきこと、中長期的に目指すべきことなど、優先順位を設けて十分に検討したい。持続可能な医療提供体制確保のため、「やれることは何でも取り組む」との認識の下、人材確保に最大限注力しながら病院運営に努めたい。



**答** 泉 寺西 院長

これまであさひ総合病院経営改善検討委員会からの提言により、医療人材確保のため医療職への初任給調整手当の創設、看護学生修学資金貸与制度における貸与月額の増額、医学生・薬学生の修学資金貸与制度の創設、医師確保のため富山大学附属病院との寄附講座開設などを行ってきたところであり、医師、看護師等の確保に一定の成果があったものと考えている。

## 医療DXへの対応について

**答** 業務の効率化、医療の質の向上のためシステム増強に努める

**質問** 将来的に実現可能と予想される医療DXの取組みについて伺う。

**答** 泉 寺西 院長

令和6年度に電子カルテをはじめとした医療情報システムの計画更新を予定しており、システム選定に当たっては、国が進める医療DXに対応可能なシステムを条件にすることとしている。

また、新たに厚生労働省から積極的な導入を求められている電子処方箋管理システムの導入も検討しており、これにより同意を得た患者の処方歴や特定検診の結果情報の参照が可能となる。一方、医療DXの推進により様々なメリットが得られるものの、システムの導入費用や維持管理費は非常に高額になることから、業者間の競争原理を働かせ、費用対効果を十分に検証しながら、業務の効率化や医療の質の向上に資するシステムへの増強に向け、最大限努めたい。

# 一般質問

## 移住定住対策や婚活事業を株式会社博報堂と連携できないか

### 答 ノウハウを生かした事業展開の可能性を研究する



清水 眞人



**質問** 多重的子育て支援策や定住者への支援策の認知度が低いことは常に問題視されている。

株式会社博報堂と連携し、ターゲットを絞った告知方法など、移住定住対策や婚活事業に生かすことができると思うが、連携を検討すべきではないか。

**答弁** 住民・子ども課長 朝日

町では、「子育て応援日本一のみち」を目指し、県下でも先駆けて福祉、医療、教育、DXで一丸となって子育て支援事業を行ってきた。また、朝日町の子育て世帯は、第3子や第4子といった多子世帯が増加している傾向にある。

株式会社博報堂との連携を検討してはどうかとの指摘について、11月に岡山県奈義町で開催された「全国子育て応援会議」へ

朝日町が参加することになったのは、子育て支援に力を注いでいる自治体として、こども家庭庁を通じて奈義町からお声がけを頂いたものである。また、おうちで子育て支援事業などの取組について、全国の市町村などからの問合せや視察が増えており、認知度は上がっているものと感じている。

今後は、さらなる情報発信として、株式会社博報堂との連携についても、そのノウハウを生かした事業展開も可能と思われるので、その可能性について研究していきたい。

朝日町が参加することになったのは、子育て支援に力を注いでいる自治体として、こども家庭庁を通じて奈義町からお声がけを頂いたものである。また、おうちで子育て支援事業などの取組について、全国の市町村などからの問合せや視察が増えており、認知度は上がっているものと感じている。



## 住民税非課税世帯への7万円給付の実施見込みは

早く給付できるよう準備を進めたいと考えている

**質問** 国の令和5年度補正予算が11月29日に成立した。補正予算には、住民税非課税世帯を対象に1世帯当たり7万円を給付する低所得世帯支援枠が含まれている。早期の給付が求められるが、町としていつ頃までに給付できるのか、現時点における実施見込みを伺いたい。

**答弁** 健康課長 エネルギー・

食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、地方公共団体が地域の実情に合わせ必要な支援をきめ細やかに実施できるように、重点支援交付金を低所得世帯支援枠及び推奨事業メニューとして追加する補正予算が今国会で成立された。

先般、朝日町にその交付限度額の通知があり、適時に必応な支援を講じることができるよう、各課において支援策の協議、検討がなされたところである。

物価高騰の負担感が大きい低所得世帯への負担の軽減を図る事業としての低所得世帯支援枠につい

ては、住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり7万円を給付する予算措置を12月議会最終日に補正予算として追加提案する予定としている。

給付金については、基準日である12月1日現在、朝日町に住民登録のある方で、令和5年度の住民税が非課税の世帯を対象に、令和5年度夏以降に1世帯当たり3万円の支援を開始してきた同じ低所得世帯支援枠の追加であることから、口座登録のある世帯へは振込案内としてのプッシュ型で手続の簡素化を図るなど、県内自治体との情報共有やシステム業者との協議、調整を通じ、早期の事務作業について検討しているところであるが、令和5年末支給は叶わない状況である。

対象世帯へなるべく早く支給できるように、システム改修を含め、準備を進めていきたいと考えている。



## 若年層と出生数が減少傾向、現状の評価と課題の認識は



善田 奈緒

**答** 若年層の転出超過者数は目標を下回り大きな課題

**質問** 子育て応援日本一を始め、近年の町の取組みに対する外部評価は非常に高いが、若年層と出生数は減少傾向が続いており、町存続の危機に瀕している。

現状の評価と課題がどこにあるか認識しているのか。

**答** みんなで未来！課長 将来の町の人口動態に大きく影響する出生数について、減少傾向にあるが、平成22年国勢調査において、子どもを持つ世帯1世帯当たりの子どもの数は1.70人と県内で最も低かったものが、令和2年国勢調査では2.22人となり県内で最も高いものとなっており、子育て施策の成果が大きく現れている結果であると評価している。

一方、若年層の転出超過者数は目標を下回り大きな課題と認識し

ている。

**再質問**

課題は若年層、子育て世帯の絶対数の減少である。町としてやることは全てやり尽くしているのか、財政的・マンパワー不足でできないという認識でよいか。

**再答** 住民・子ども課長 ただやることはあると考える。ただ、財政的な部分を含め、国の補助事業を活用しながら、あるいは他市町村の状況も研究しながら進めたいと考えている。

**再質問**

地域活性化起業人制度を活用し、マンパワー不足の解消、専門的スキルの活用を検討すべきではないか。

**再答** 住民・子ども課長 相手方のある話なので、必要な分野を必要に応じて交渉し、来ていただくようなら来ていただく形に

なると思っている。

**再質問**

財源としてふるさと納税の活用は。返礼品ありきのモノ消費目線から町と関わりたいと思ふうコト消費目線への転換は。

**再答** 商工観光課長 今のカタログショッピングの形は、我々も疑問を持っている。クラウドファンディング型のふるさと納税を、町としてどうやって導入できるか検討し取り入れていきたい。

地域おこし協力隊制度の活用について

**答** 引き続き制度を活用し、町に必要な分野での活躍を期待

**質問**

昨年時10名を想定したデジタル分野での採用は1名で、町が必要とする人材確保が進んでいない。地域おこし協力隊制度運用に関わる現状の成果と課題は。また、外部人材獲得に、地域おこし協力隊制度の積極的活用は。

**答** 住民・子ども課長 町では、地域おこし協力隊の採用に当たり、具体的な活動内容を示すミッション型の募集をしており、現在の隊員においても、デジタルサポート分野でのDXの推進や水産業分野での漁場の環境調査などの活動、公共交通分野での活性化

や農業分野での農業振興の取組みなど、現在8名の隊員が地域課題解消に向け活動している。しかし、町の希望する分野に思うように採用できていない現状もある。隊員の確保について、引き続き町制度を活用し、町に必要な分野での活躍に期待する。

**再質問**

隊員一人当たり報償費280万円上限に特別交付税による財源措置がある。募集等に要する経費も300万円まで措置があるが、町の実績は。

**再答** 住民・子ども課長 隊員一人当たりの報償費は、月額15万1,000円と期末手当で280万円に満たない。募集等に要する経費は、約9万2,000円を計上している。令和5年度についても同様である。

**再質問**

総務省が示す上限額より報償費は低く、募集経費もまだかけられる。町の財政負担なくできるため、給料の額が一つの判断基準となり、町の本気度も伝わるのでは。

**再答** 住民・子ども課長 報償費については検討している。募集についても大いに活用したい。

## 飛野山崩壊により 用水に堆積した 土砂の処理について



石原孝之

**答** 下流域に流出を確認。共助という  
観点から各地区で対応を

**質問** 南保飛野山崩壊後、雨が降ると土砂が河川へと流入し、崩壊場所から下流域までは、農業用水や田んぼでの土砂の堆積が確認されている。今後工事が完了するまでの間、さらなる堆積が進むことが推測される。また、各地区において江ざらいが行われた時、側溝や用水路に土砂の堆積が確認された場合、その土砂の処理方法についての対策が必要になってくるのではないか。

答弁 農林水産課長

南保飛野

山の山腹崩壊については、令和5年5月7日の豪雨により、崩壊の拡大が確認されて以降、県では、近隣住民の生命等を守るため、土石流などの万が一に備え、山裾に51メートルにわたって大型土のう141個を2段積みで設置し、ま

た山腹崩壊の拡大による土石流などが発生した場合に、溪流に設置したワイヤー感知式センサーによって、民家などに警報音と赤色灯で知らせる土砂監視システムを2基設置している。

町では、地元町内会長や近隣住民に対して説明会を開催し、連絡体制や緊急避難場所などについて確認したところである。

また、下流域への土砂流入を抑制するため、大雨時には水門操作により小川への排水を行うよう水門管理者へお願いし、対応いただいているところである。

現在県で行われている工事の進捗状況は、下流域の安全確保のためカメラ監視システムを追加で設置されたほか、土砂の流出を抑えるための谷止工の1基増設工

事、暗渠ボーリング工事及び崩壊地復旧計画作成のためのボーリング調査を発注されている。

飛野山山腹からの土砂流出は、下流域に流出していることを現地で確認しており、その対応について、これまで県とも相談を行ってきた。

町としては、現時点では、流出した土砂への対応が困難であることから、今後、側溝や用水路の江ざらい等において、共助の観点から、各地域で対応をお願いしたい。県に対して工事の早期完成を要望するとともに、流出した土砂への対応について、引き続き相談等を行っていきたいと考えている。

## カップルの成立率約8割の メタバース婚活を実施しては

**答** 結婚支援事業の新しい手法について研究に努めたい

**質問**

デジタル時代の今、メタバースといった今までにない新しい婚活スタイルにより、これまで参加を戸惑っていた方々も参加していたのではないかと。選択肢が増えることで出会う機会が増え、町の活性化、定住対策、少子化対策につながると思うが町の考えを伺いたい。

答弁 住民・子ども課長

朝日

町の婚活事業については、非婚化、晩婚化、少子化に伴う人口減少対策の観点から、あいのトキめき事業として出会いの場の創出、結婚支援事業に取り組んでいる。

令和4年度においても、男性向けスキルアップセミナーと出会いイベントを開催した。また、滑川市、魚津市、黒部市、入善町、朝日町の3市2町合同で出会いイベントを開催した。

令和5年度では、町単独での交流イベントを行わず、新たに、とやまマリッジサポートセンターに入会される際に登録料の2分の1を町が助成する補助事業を開始している。

メタバース婚活については、仮想空間内で「アバター」と呼ばれるキャラクターを使い、アバター同士で交流したり、マッチングしたカップルで仮想空間内でデートする婚活イベントであり、全国で複数の自治体によって実施されている。仮想空間内では、姿形よりも内面的な性格を重視するため、カップル成立や結婚に進展しやすい特徴もあると伺っている。結婚支援事業の新しい手法について、全国での実例を参考にし、研究に努めたいと考えている。

# 常任委員長報告

## 本文に掲載した記事以外の質問

### 《代表質問》

#### ◆大井 光男 議員

- 農業の現状について
- 酷暑による農作物の影響を踏まえた支援と生産体制について
- 沢頭頭首工の故障による取水区域の影響と今後の管理について

- 学校教育の取組みについて
- タブレット端末使用における生徒への影響について
- 朝日町環境ふれあい施設について
- 「らくちん」空調設備受託サービスについて

#### ◆田井 崇 議員

- マイナンバーカード並びにデジタル田園都市国家構想交付金事業について
- マイナンバーカードの利便性向上について
- 農業、農地の将来について
- 農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画について
- 町の観光施策について
- あさひ舟川「春の四重奏」の運営、今後の展開について

#### ◆吉江 昌宏 議員

- 町制70周年記念事業について
- 70周年記念事業メインのイベントについて
- キャッチフレーズの募集について
- 記念ユニフォームの作成について
- 郷土愛を育む記念ゲームの作成について
- 各種団体からの記念事業の要望について

- 町公式SNSの活用について
- 公式SNSの登録者数増加に向けた取り組みについて
- 部活動の存続と部員について
- 少子化による部活動の存続に

ついて

- 部活動とクラブ活動の関係性について
- 指導者の基準について
- 遺族の手続きの簡略化について
- ハンドブックの作成について

#### ◆西岡 良則 議員

- 林業の振興について
- 森林環境譲与税の配分額について
- 漁業の振興について
- ウニの駆除と生態調査の補助について
- 沿岸漁業振興と放流事業について

- 農地、河川の総合的な整備について
- 耕作放棄地の解消と県営圃場整備事業の推進について
- 圃場整備と寺川の改修について
- 用途地域の変更について

### 《一般質問》

#### ◆寺西 泉 議員

- 脱炭素施策について
- 「デコ活」の推進について
- 再生可能エネルギーを通じたまちづくりについて

#### ◆清水 真人 議員

- 令和5年度あさひ総合病院経営改善検討委員会について
- 経営改善検討委員の提言について
- 公共施設のあり方検討委員会の経過報告について
- 町管理の公園について

#### ◆石原 孝之 議員

- 安全安心なまちづくりについて
- 有害鳥獣対策の侵入防止柵設置について
- ふるさと美術館について
- 今後の作品展示計画について

# 常任委員長報告

## 総務産業常任委員会

議会から付託されました6案件について、可決・承認すべきものと決しました。

審査の過程において、次の意見・要望がありました。

来年度は町制施行70周年でもあり、町長が提案理由説明での予算編成方針について述べられたとおり、議会での提案や各種団体等の要望も考慮され、未来を見据えた投資を図るとともに、一層、メリハリの効いた、積極的で実効性のある予算編成にあたられたい。

## 民生教育常任委員会

議会から付託されました4案件について、可決すべきものと決しました。

○陳情第4号 認知症予防のため、加齢性難聴者の補聴器購入に対する朝日町独自の補助制度創設を求める陳情につきましては、継続審査にすべきものと決しました。

審査の過程において、次の意見・要望がありました。

人口減少、少子高齢化が急速に進む中、若い世代の町への移住に繋がるような施策を推進していただきたい。

物価高騰の負担軽減を図る低所得世帯支援枠7万円の給付について、迅速な支給に努められたい。



# 議会の活動記録

11月11日、朝日町役場4階大ホールで議会報告会を開催しました。

報告会前半では、各常任委員会から**移住・定住**をテーマに報告し、後半は参加者と意見交換を行いました。

当日は32名の方に参加していただきました。

皆さんから貴重なご意見・ご提案をいただきました。当日お答えできなかったご意見・ご提案への回答を12月末に郵送しました。(以下抜粋)



問

人口の推移を見ると恐ろしく減少し、高齢化率も高い。どうすればこの流れを食い止めて、子どもを増やせるか。

答

朝日町に情熱がある人がもっと出てくれば人は来ると思う。工場があれば人が来ると思うし、地元の工場が大きく発展するよう支援が必要と考えている。

## 意見&提案

子育て応援日本一を謳っているが、結婚応援日本一でもいいのではないかと。実際、子供はこれだけ減っており、今のままだと、子どもがいなくなってしまう。生まれにくいことには、子育て応援はできないので、子育て応援の前に、結婚応援ということで、町として、何か考えていったらいいのでは。

また、今いる若者が、就職や進学で県外に転出すると、帰ってこない。移住も大事だが、今居る人に魅力を感じてもらわなければならない。魅力のある人を、地域の中で育てるべき。若者がすぐ帰って来なくても、年を取ってから帰ってきてもいい。「やっぱり朝日町に帰ってきたいな」という人が増えれば、人口が少しずつ増えていくのではないかと。

移住・定住をするために、1番目は仕事。また、移住したい人に、空き家を紹介し、試しに1カ月から1年住んでもらう。お試し期間は全部家賃を払ってもらわなければならない。それで、この町がいいなと実感したら住んでもらう。

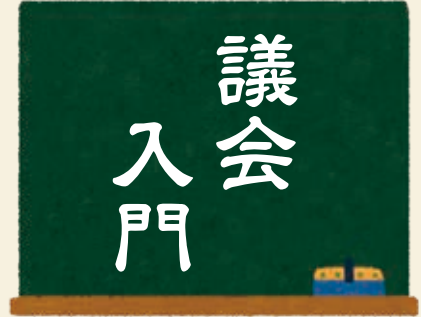
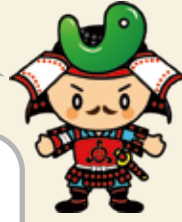
こすぎ家の活動内容をもっと情報公開して、チラシなどで大々的にPRを行い、仕事の世話、家の世話もしてもらえると分かると、大変安心するのではないかと。やっぱり最後は安心しないと町に来ないと思う。

いただいたご意見・ご提案について真摯に捉えて検討するとともに町当局とも議論してまいります。



Q 質疑と質問の違いって何ですか？

A 質疑とは、本会議での議案説明で分からなかった場合に疑義をたずることです。質問は町政全般に対して町の方針や考えを問いただすことです。



## 議会日誌

12月	11月	10月
1日 議会運営委員会 4日 12月定例会（～18日） 13日 総務産業常任委員会 14日 民生教育常任委員会 18日 議会運営委員会、議員協議会	2日 議会運営委員会 5日 関西朝日会総会 6日 下新川海岸整備事業促進議員連盟中央要望 9日 町村議会議長協議会 10日 新川広域圏事務組合研修会 11日 議会報告会 22日 全員協議会・議員協議会 27日 黒部川治水同盟中央要望 29日 議会運営委員会 町村議会議長会全国大会・豪雪地帯町村議会議長全国大会	19日 全員協議会・議員協議会・議会だより編集委員会 20日 糸魚川市朝日町議会議員連絡協議会



### お詫びと訂正

令和5年11月1日発行の議会だより119号の議長交際費において、「その他1件32,960円」と記載しましたが正しくは、「その他0件0円」です。  
お詫びして訂正いたします。

項目	R 5.10.1～12.31		R 5年度累計	
	件数	支出金額(円)	件数	支出金額(円)
祝儀・寸志	2	53,460	6	78,460
香典・生花・見舞	1	5,000	2	10,000
土産・贈答	0	0	0	0
負担金・会費	6	72,000	14	199,000
懇談会	0	0	2	23,000
賤別・激励・協賛金	1	5,000	4	20,000
その他	0	0	0	0
合計	10	135,460	28	330,460

### 議長交際費を公開します

### 編集後記



議会だよりは、平成6年5月1日に創刊され、現在に至っております。次のように少しずつ、工夫を凝らしてきましたが、掲載内容は、今まで、ほとんど変わっておりません。

- ・平成24年11月：質問者の写真を掲載する。
- ・平成26年10月：一部をカラー印刷にする。
- ・令和元年11月：議会インターネット中継・録画配信のURLを掲載する。
- ・令和4年11月：議会入門コーナーを掲載する。
- ・令和5年8月：質問者別に動画の二次元コードを掲載する。

編集委員会では、町民の皆様が議会により親しみを持っていただけるように、来年度より紙面を大幅にリニューアルする方向で議論を重ねております。ご意見・ご要望等がございましたら、議会事務局まで連絡していただければ幸いです。

今後、朝日町議会に対して、ご理解を賜りますよう宜しくお願い致します。  
(寺西)

#### ◇議会だより編集委員

寺西 泉 吉江 昌宏  
加藤 好進 由井 崇  
大井 光男